

仲間づくり
 生きがいづくり
 大好きひたちづくり
 シニアライフを
 豊かに生きるために

熟年

J-net
 熟年ネット・ひたち



新春を迎えて
 代表世話人 掛札 優

皆さん 新年明けましておめでとうございます。卯年を明るくお迎えのことと思います。昨年素晴らしい活動を進めることが出来ました。皆様のご協力の賜物であり感謝申し上げます。

しかし、私たちを取り巻く環境は政治・経済・自然などを含めて益々厳しくなっていますので、「心豊かに生きる」ためには更なる努力が必要です。特に茨城県は、民間シンクタンクの意識調査によると愛着度と自慢度が46位で、県政世論調査では3割以上の県民が「マナーが悪い」「保守的」「停滞している」と負のイメージを持っています。

何故この様になっているのか、それは郷土の力を育てる「和」の力が弱いことによります。「和」がなければ郷土の「誇り」などは育ちません。「誇り」のない郷土に愛着が持てず若者の郷土離れが進み、少子高齢化が加速するのみです。日立市には「誇り」とする自然・歴史・人・産物などが多く存在しています。今年、J-netで育まれた「和」の力で「大好きひたち」に挑戦したいと思いが如何でしょうか。

最後になりますが、皆様とご家族のご多幸をお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



J-net

2010年の主なニュース

★ 河原子海岸清掃グループ発足

楽習会「落語を聴く」の講師渡部博さんが行なっていた河原子海岸清掃に共感してグループが発足。11名で月2回活動している。

★ ハーモニーフレンズ

「ハーモニカ賞」受賞
 ハーモニカ音楽の普及発展に尽くし、社会に多大な貢献をしたことを認められて、4月25日全日本ハーモニカ連盟より「ハーモニカ賞」を受賞した。

★ Jネット・オカリナハート

8周年記念コンサート
 結成8周年を迎え、日頃の練習の成果を披露すべく、6月2日「オアシスカみね」においてコンサートを開催。満席のお客様から喝采をいただいた。

★ 郷土ひたち・ネット

冊子『日立村物語』発行
 新しい時代を創ろうと、見事にその志を果たした誇るべき日立の先人の活躍を纏めた『日立村物語』が企業から個人まで強い共感をいただいて、初版3千部に続き3千部増刷した。

★ ひたちおもちゃの病院

県社会福祉協議会長表彰
 地域社会福祉増進に貢献したボランティア活動団体として10月25日表彰を受けた。8年間で1200件修理し、多くの子供たちの笑顔を生んだ。

— 会員よりの一言 —

新春を迎えて



三浦 かつえ

新年を迎えた。喜びでもあり、ちょっと気分も減入る・・・又歳を重ねた。この現実、私だけでは無い！！自分に言い聞かせる。命という、自由に使える残された、自分の時間「生きている事は、楽しい」と、自分に言い聞かせ、楽しむ 2011 年にしよう。年頭の誓いとした。今年もどうぞ宜しくお願いします。

尾沼 信義「地域活動に力をいれる」

昨年古希を迎え、地元での活動も考えています。聞けば地元の高齢化率は 28% になり、地域活動をしてくれる人を集めています。地域の人たちと一緒に活動することは大切なことだと考え、J-net で学んだことを糧に、活動していきたいと考えています。

於曾能 富寿子

明けましておめでとうございます。今年は介護は無理をせず、健康で暮らしたいと思っております。それから整理整頓を心がけて、心豊かに生活をしていきたいと願っております。

桑名 勇児

石原裕次郎が歌った「花の散りぎわ」という曲がある。6 年ほど前に発見・リリースされたが、その中に♪花は何故散る何故風になる 花の散り際見せるため・・・♪ というフレーズがある。作詞のなかにし礼氏の意図は定かでないが、一つの人生のあり方を花に例えて表現したのかな、なんて考える今日この頃である。

山野 邦雄

「右肩下がり抵抗の年に」
飛距離が落ち、あらゆることに根気の続かぬのを実感した寅年であった。守備範囲は狭くなっても水平飛行を続けられる兎年となるよう頑張りたい。

水庭 一恵「今年の目標」

いつも時間に追い駆けていられますので、今年こそは時間の使い方を見直し、余裕のある過ごし方を心がけています。週 2 日の散策が一番の目標です。また、J-net の活動の一端に参加し、実りある一年にしたいものと思っております。

富田 滋男

結城紬が NHK 小さな旅で取り上げられ、その放送の中で「心は縦糸、笑顔は横糸」との言葉があった。いい言葉である。何ヶ月もかけて織り上げる結城紬の心がみえる。我々のボランティア活動もゆっくりで良いので、縦糸の心と、横糸の笑顔で心のこもった地域社会貢献をしたいもの。

小林 勇作・美津江 「絵手紙初笑い」



岩本 浩

最近オカリナの調子が悪く、演奏中に音が出なくなることが多いので、耐えきれずに昨年暮れにオカリナを購入した。音の出が悪くなる理由は、オカリナは永久的なものでなく寿命があると店主から聞かされた。早速 20 曲位練習してみたが、音が出なくなることなく憂鬱な気分が一つ解消された。

平田 恵美子「新春を迎えて」

心も身体も健康でありますように願っております。歳を重ねるほど気持を可愛らしく持って、話す事も穏やかにとっておりますが、中々上手いかないものです。今年、頑張って「やさしい話し方」に心がける習慣を身につけたいと思っております。

鈴木 重四郎

なんといっても健康が第一、ハーモニカで脳の若返りをはかる努力をしていきたい。



平田 順一

昨年は胆石症のため、生まれて初めての手術を体験し、健康の大切さを実感した。今年、持病の定期的なチェックで体調管理を行いながら、適切な食事と運動で体力維持に努めて、「一病息災」で過ごしたい。また、色々な事に好奇心を持ち続けるように心掛けて、精神的な若さを保ち続けたい。

藤本 欣正「新春を迎えて」

日立に来てから丁度 60 年を迎えるので、入社記念日に同期会を開くこと。高齢になったので、まずは体力を維持しながら家庭菜園を続け、さつま芋の苗作りに再度挑戦、夏野菜の苗を出るだけ自家育成としたい。あとは 15 年ぶりに海外旅行をしたいと考えている。

三ツ井 義弘

世の中、ひとり世帯が急増しているという。独居への道は誰でも通る道なんだと納得するしかない。しかし、引きこもりの独居老人にはなりたくない。その為には話し相手、仲間が益々大切と感じる。そこに拠り所としての J-net の存在の意味があると思う。今年も前を向いて元気に生きていきたい。

福田 常実「初心に帰って」

最近、色盲のドライバーなのか、変わり目の赤信号で進入する車を良く見かける。本県は運転マナーの悪さを指摘されて久しい。また中高年になっても車を運転する機会が多い。初心に帰ってハンドルを握り、今年もゆとりと思いやりをもって安全運転に努めたい。

神原 愛正

定年になって今年の 5 月で丸 2 年になる。定年と同時に色々な事に首を突っ込んだら、かなり多忙となりこれで良いのかと自問自答している。不器用な私にとって共倒れの恐れが出てきたので、「仕分け」が必要かと悩んでいる。皆様の良きアドバイスをお願いします。

小林 真理子「しおさい」

週 2 回しおさいを利用しています。ある時、利用日が都合悪く水・木曜日にと変更しました。朝送迎車が玄関に着きますと J-net の方々が出迎えてまして、各々席まで案内されて、時間になるとオカリナ演奏により皆で合唱し、楽しいひと時を過ごしています。ありがとうございます。

松野 道夫「新たな思い」

長い間の企業戦士(老兵)から解放され、好きな事をして生きたいと夢をふくらませていた。でも、目標が定まらず思い悩んでいた。

そんな時、J-net に入会することができた。今後、会を通じ今までできなかった事に、積極的に挑戦して行きたい。

会員の皆様、宜しくお願いします。

山本 三男

昨年暮に万座温泉に行ってきました。浴場への廊下の壁に右のような看板が掛けられていた。

ユーモア溢れる言葉に、つい引き込まれた。新年に当たりこのくらいの気持で人生を過ごしたいと思った。



高野山普門院
大僧正

長寿の心得
一、人生は六十歳から。
一、七十歳にしてお迎えが来たら、留守
だといえ。
一、八十歳にしてお迎えが来たら、さよ
うせかずともよいといえ。
一、百歳にしてお迎えがきたら、良い時
期を見てこちらからばつばつ行くと
いえ。

岡田 泰典

昨年定年となり、生き方を求めて会社とは異なる新たな場を探索中。

ボランティア活動による地域との融合、J-net や同好会等を通じた人との交わり、耕作放棄の畑地再開墾による家庭菜園作りへの挑戦等等。融通無碍、焦らず、あわてず、あるがままを受け入れながら、前向きに行こうと考えています。

藤村 克人

一昨年は長男の新築祝いに「飾り棚」を、昨年は次男に「キッチンラック」と「マガジンラック」を、更に三男の「結婚引き出物」を作った。

今は、4 月の仲間の展示会に向けて、女房殿ご要望の「パソコン収納兼電話台」を製作中である。さて、その次は自分の物をとと思案中。今年も木工品作りを続けて「ボケ防止」に努めたい。

桑原 フジ子

石の上にも 3 年。J-net 入会以来 3 度目の正月を迎えました。

今年の目標は、参加すれば楽しく、有意義であることが分かっている楽習会へ月 1 回は参加すること。

ささやか過ぎる目標でも決めた限りは達成したいと思っています。皆様の顔と名前が覚えられると良いなと思っています。

堀 三千男「東京の空」

「・・・東京に空が無い・・・」と、詩にあるが、12 月中旬頃、都心の高層マンションの一室から眺める晴れた日の朝 6 時頃の空は、澄みわたって独特の色となりとてもきれいで、遠くには建設中の東京スカイツリーも見える。

湯沢 昭一「再チャレンジ」

昨年は、「新しい事にチャレンジ」を目標に掲げたが、目標が抽象的で、あまり成果が出なかった。今年、次の二つに絞ってチャレンジしようと思っている。

- (1) 展示会出展を目指して、心が和むような素敵な「水彩画」を、1 枚/月 作成。
- (2) 計画的トレーニング実施による、秋の体力測定会での「体力年齢 50 歳」の評価獲得。

加藤 勝

新聞の声欄に混んだ通勤電車の中、妊婦に席を譲ろうと駅で大勢の人が降りた時、少年(小学 4、5 年生)は空いた席に走りランドセルを置いて戻り「ここに座って下さい」と言い、恥ずかしかったのか直ぐに離れたと言う。

人は感動に慣れるに従い感動が薄れると言うが、私は馬齢を重ねている身ですがその心情は大事にしたい。



迎春

今年も皆様と楽しく活動していきたいと思えます。よろしくお願ひいたします。



畑山 和子
「木版画年賀状」

高山 紘夫

整体院を開業して 6 年目を迎えることになりました。昨年は多くの患者さんから「楽になったよ」「治ったよ」との言葉と笑顔に励まされました。今年も昨年と同様、治療手技を高めたいと 3 月 19 日～22 日の 4 日間勉強会に参加します。ご迷惑をおかけしますがこの間休業します。

安藤 勝「さようなら」

凜として生き、決して気取らず。傾聴に心を注ぎ、言の葉に魂が宿る。励ましの手紙にも、頑張れと言わずそっと褒め言葉を添える。お役に立ちたいと言わず、お役に立ててうれしかったと言う。

『生きた証は、社会へのお返し』と仰って、あの方は大宇宙の星くずとなって昇天した。

鳥海 良子「新年に思う」

皆様 今年もよろしくお願いいたします。趣味を整理した事も有り、今年は時間が少し空きます。目標を二つ挙げたい。

- 1. 健康を兼ねたボランティアをみつけない
- 2. 好きな歴史の勉強を深めたい。

百人一首から好きな歌、二首

- ・めぐりあひて見しやそれともわかぬ間に雲隠れにし夜半の月かな
- ・もろともに哀れとおもへ山桜花より外にしる人もなし



楽 習 会



ふるさと探訪

(11/11)

初冬快晴の午後「成沢の歴史探訪」を実施した。探訪のガイドは、会友の野崎さんをお願いした。

市営球場を出発し、小豆洗不動尊、鮎川溪谷、茨大の小平記念図書館、水漏舎跡、鹿島神社を巡り、何か懐かしさを感じながらふるさとの歴史を実感した。



小豆洗不動尊では、昔から村人に守られてきたお不動さんに歴史を感じ、五月女さんの小豆洗にまつわる民話

に耳を傾けた。鮎川溪谷では鮭の遡上に出会うことが出来感激した。

茨大では先人が寄贈したという茨大工学部(元多賀高専)のルーツに触れ、先人の教育に対する情熱を改めて感じた。

弁天公園(水漏舎跡)は、現成沢小学校の起源である水漏舎小学校が開設された場所であり、貴重な歴史を感じた。その後鹿島神社を参拝し市営球場に帰った。参加者25名



(三ツ井 義弘)

芋煮会

(11/25)

毎年恒例の夏季交流会に代わって、今年は「会瀬青少年の家」で初めての芋煮会を行った。献立は芋煮をメインに鮭のチャンチャ焼、イカ焼、煮込みうどんである。

予定の11時過ぎに料理作りを開始し、最初は班分けの説明不足等で戸惑ったが、この道の大ベテランのご指導のおかげでスムーズに進み、予定を少し過ぎて12時過ぎに無事料理が完成。乾杯の後に会食開始、自分達の作った料理に満足しながら、思い思いの懇談をして和やかな雰囲気



で会員の相互交流の親睦ができた。

その後、ケーナグループによる演奏とJネット・オカリナハートの演奏によるナツメロ中心の大合唱で最高の雰囲気になった。

最後は残り物も賞品にしての空くじなしのビンゴゲームで締めくくり、楽しい芋煮会だった。

この日は11月末にしては比較的暖かく過しやすい天候で、新人3名も参加しての総勢35名と大盛況であった。

(藤村 克人)



井戸端会議

(12/9)

先ず健康体操を石井さんの指導で実施し、その後伊藤さんから皆さんに知っておいて欲しいと「脳血管疾患」の話があった。発症からリハビリに至るまでの経過を、詳しい資料と共に体験談として話され、脳の病気の前兆について大変貴重なお話を伺った。

本題の井戸端会議は、話題として「茨城県の魅力度」を取り上げ各テーブルで話合った。結果として、1)郷土のことを良く知る、2)郷土に対する誇りを持つ、3)元気な町づくり、等の意見がでた。その他健康管理や入院保健、今年を象徴する漢字1文字など、時間を大分超過し盛り上がった。

最後に小林(美)さんの指導で指体操をしてなごやかに終わった。

参加者32名

(藤本 欣正)



年末交流会

(12/23)

恒例の年末交流会をシビックセンターにおいて会員・会友、来賓合わせて45名の参加により盛大に開催した。記念撮影後、掛札代表挨拶で始まり、ご来賓の日立市社会福祉協議会小室事務局長よりご挨拶をいただいた。新会員3名の自己紹介の後、宮下さんの乾杯の音頭で酒宴に入った。

暫く歓談の後、全日本ハーモニカ連盟より表彰を受けたハーモニーフレンズのメンバー



4人による素晴らしい演奏に手拍子、ケーナによるフォルクローレ演奏、そして今年8周年を迎えたJネット・オカリナハートの透き通った音色に聞き入り、ひと時を過した。

久振りに会う仲間もおり、会場内に展示したJ-net 活動内容の掛図を懐かしそうに見ながら、歓談に花を咲かせていた。

宴終盤には小林(美)さんのリードでジャンケンゲームに興じたり、生まれた月日を手話で話し順番に並ぶゲームには混乱し大笑いした。

畑山副代表の閉会挨拶後、岩本さんの一本締めでお開きとなった。会員・会友が一堂に集まり、2時間半の中で夫々が大いに楽しみ、懇親できた大変有意義な時間であった。



(山本 三男)



ボランティア・自主活動



ハーモニーフレンズ 高齢者の楽しみに応じて

全日本ハーモニカ連盟より表彰されて以降益々出演演奏が多くなり、月 3～4 回の要請に対応している。

11/14 には北茨城市のホテル大観荘でスター並みのディナーショーを行い、一緒に歌って楽しんで頂いた。

12/20 河原子交流センター、翌日 12/21 中小路交流センターにおいてクリスマスの歌とナツメロで盛り上がった。時間を忘れてアンコールに応えると共に次年度のクリスマス再来訪を約束した。

(鈴木 重四郎)



おもちゃの病院 近隣への活動拡大を目指す

昨年 10 月に、病院開設 7 年の地道なボランティア活動団体として県社協会長表彰をいただいた。(前号紹介)

開設依頼の診療カルテは 3 cm ファイルにぎっしり 6 冊にもなり、様々な診療内容と一部に記録写真が裏面に印刷されるなど貴重な活動記録である。

今年は、市外からのおもちゃ修理依頼の多いことを考慮し、近隣市町村に呼びかけて地域密着型の病院設立と活動拡大を実現したい。

(小林 勇作)

ウオーク会 安全なコースで今年も新発見を

先輩が立ち上げてくれたウオーク会も、今回で累計 40 回を数える。日立近辺を中心に海岸、里山、名所旧跡と各方面のコースを選び楽しんできた。こんな近くにこんな良い所があったなどと、再発見の場所が多い。

年々会員の体力も低下傾向、体力に見合った安全なコースで今年も楽しみたい。

(山本 三男)

J&Bグループ 安全・のびのびの場を目指して

おもちゃライブラリーは乳幼児の遊び場、親同士の交流の場としての位置づけで、我々は見守りとしてお手伝いをしてきた。福祉プラザの大会議室という安全で安心な場所で、子どもたちが元気良くのびのびと遊んで欲しいものである。将来を担う子どもたちがすくすく育ってくれ、また親の育児を少しでもお手伝いができればとの思いで今後も続けていきたい。

(山本 三男)

郷土ひたち・ネット 日立市の「誇り」を活かす

元気な町づくりの原動力は郷土の「誇り」です。しかし、日立市ではその「誇り」が案外知られていません。

そこで「誇り」の周知を図るために、工業都市日立の興りを纏めた『日立村物語』を発行したところ、高い評価を頂き、初版 3 千部に続き 3 千部増刷となりました。

このことは、多くの市民が日立市の「誇り」を求めていることを示すものであり、本年度は活動の更なる充実を図りたいと考えています。参加者を歓迎いたします。

(掛札 優)

グループ・ピニオン 小さな歯車活動

グループ・ピニオンは、シニア健康センター「しおさい」で、毎週水・木の 2 日間 9 時頃より午前中、デイサービス利用者のお出迎え、お話し合いそしてオカリナ伴奏によるナツメロなどの合唱をしています。

歌を楽しむ方、お話を楽しみとする方、色々な方が居られて、利用者もボランティアも楽しみにしています。私たちにとって何れ行く道、毎週水・木の何れか 1 日で結構ですので一緒に活動しませんか。参加をお待ちしています。

(掛札 優)

なるてす会 7 年の活動を振り返って

大晦日、田岡さんの訃報に接しました。心からご冥福をお祈りします。幾多の苦難に際し長姉としてご指導を頂き、「なるてす」の発案も田岡さんでした。

第 1 回は平成 16 年「本の有効活用」として本中心で始まり売上金を J-net へ寄付出来た。現在のメンバーは安藤、鳥海、滑川、尾沼、岩本、藤崎の 6 名です。

品物の販路拡大を考え市民対象のフリーマーケットに 7 回参加するなど、トータル 38 回実施しました。この間ご協力頂いた桑名、森、谷藤、菊池、鈴木幸子さん達に感謝しています。

(藤崎 圭一郎)

Jネット・オカリナハート 10 周年への飛躍の年に

昨年は、6 月に「結成 8 周年記念コンサート」を行った記念すべき年であった。音楽ホールや交流センター、学校などでの演奏会、定期訪問先「しおさい」におけるオカリナとの合唱等、皆様に喜ばれる活動は市内に数少ないグループとなっている。今年は 10 周年に向けて、沢山のオカリナ愛好者が仲間入りする飛躍の年になりそうである。

(小林 勇作)



河原子海岸清掃 Gr. 100 選に相応しい浜を

海岸に流れ着くゴミは膨大なものがあり、ゴミ袋 10 袋くらい集めても綺麗になったとの実感はなかなかわからない。12/20 の清掃日に出向いてみると、見事に綺麗になっていた。県が機械で清掃をしたとのこと。当日の我々のごみ収集も 4 袋と過去最低だった。

不定期で清掃をしているグループはあるが、月 2 回定期的に実施しているのは我々のグループだけ。この活動で何かが動いてくれればと思っている。当日は清掃終了後、近くの喫茶店でコーヒーを味わいながら、市の情勢に詳しい渡部さんの話で井戸端会議。今後もこの様なご苦労さん会を実施していく予定。

(富田 滋男)



インフォメーション



楽習会 (2~3月)

月/日	楽習テーマ	場所
2/10	井戸端会議(第6回)	女性センター
2/24	皆で考えよう J-net	
3/10	日立の桜を学ぶ	
3/31	日帰りバス旅行	東京スカイツリー 他

平成23年度 楽習会テーマ募集

2月24日(木)に開催する第22回楽習会「皆で考えよう J-net」では、平成23年度の楽習会年間活動計画について審議を行います。

それに先立って、平成23年度の楽習会テーマを募集します。取り上げたいこと、やってみたいことなどを年末交流会で配布済みのアンケート用紙にまとめて、楽習会担当(山野)宛に、2月10日の「井戸端会議」までに提出してください。(山野 邦雄)

訃報 故田岡静子さんのご逝去を悼む



かねてから病気療養中の田岡静子さんが12月30日朝、逝去されました。享年82歳。田岡さんは平成8年から草創期のJ-netに参加され、心豊かなシニアライフへの道筋を率先垂範で示されました。今日の当会の発展は田岡さんのご指導に負うところが少なくありません。ボランティア活動では熱心にオカリナを学び、シニア健康センター見学を契機に「グループ・ピニオン」を立ち上げ、「なるてす会」も主導されました。これからも、益々のご指導を期待していた矢先の出来事であり誠に残念です。故人のご遺徳を偲び、ご冥福をお祈り申し上げます。

リレー随筆

畑山版画工房オープン

畑山 和子

12月になると畑山版画工房がオープンします。結婚以来喪中の年を除き、夫が彫り師、私が刷り師として毎年木版画の年賀状を作ってきました。

11月ごろから図案集をめくったり、Web ページで探したりしてデザインを考えます。デザインが決まるとそれを反転して木版に写します。多色刷りの場合は各色毎に版を作るので、彫るのも刷るのもとても大変です。彫りの作業が終わると刷りに入ります。1枚のはがきを完成させるのに版の数だけの刷りを繰り返し、各色がずれないように気をつけながら200枚以上の年賀状を刷るのには何日もかかります。絵の具が乾くまで広げておかなければならないので、子供が小さい頃は悪戯されないようにもっぱら夜の作業でした。若い頃は6版8色刷りなどの作品も作りましたが、最近は彫り師も刷り師も根気がなくなり、1~2版の刷りに筆で色を入れたりして省力化しています。それでも二人とも「目が疲れた」「肩がこった」などと老化を感じるこのごろです。「来年はパソコンで作ろうか」と話したりしますが、「毎年楽しみにしているよ」と言ってくれる方が何人もいらっしゃるの、「やめるわけにはいかないね」と懲りずに工房オープンということになります。

あと何年続けられるかわかりませんが、二人揃って元気でいられるうちは息災の証として皆様にお届けできたらと思っています。



2版2刷手彩

催し物案内

写真でたどる日立百年のあゆみ

—日立鉾山創業105年・日立製作所創業100年—

期間；平成23年1月21日(金)~3月22日(火)

場所；日立市郷土博物館 (☎23-3231)

観覧料；無料

第1回講演会「日立の発展と日立鉾山のあゆみ」
日時；平成23年1月27日(木) 午後2時~3時30分
講師；吉成 茂(元日立記念館学芸員) 申込み受付中

第2回講演会「日立の発展と日立製作所のあゆみ」
日時；平成23年3月4日(金) 午後2時~3時30分
講師；掛札 優(郷土ひたち・ネット代表)
お申込み；平成23年2月8日(火) 午前9時から☎で

【編集後記】 昨年のはじめに、会報の編集委員が急に少なくなつて欠号も出るのではないかと危惧されたが、微力ながら何とか全号お届けすることができた。今年もせいっぱい親しまれる紙面づくりに努めていきたい。

昨年は心ならずも罹患され、日頃の活動の一時停止を余儀なくされた方々もおられたが、年齢を重ねる毎に健康管理をしっかり自覚し、今年も元気で年末の編集会議を迎えたい。また、皆様方のご健康とご多幸を心から願うものである。(編集子)

発行：熟年ネット・ひたち
代表世話人 掛札 優
編集：広報委員会
住所：〒317-0072
日立市弁天町2-12-10
Tel/Fax：0294-21-1345
E-mail：jnet-hitachi@lapis.plala.or.jp
http://www10.plala.or.jp/j-neth/